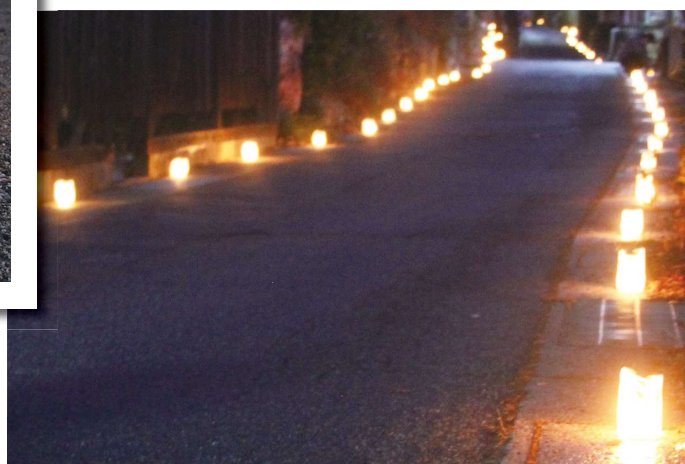




# あげまつ



“Catalog Pocket”  
でも配信しています

令和8年3月1日現在

世帯	1,949 戸(+)	1)
男	1,871 人(+)	4)
女	1,937 人(-)	6)
計	3,808 人(-)	2)



美林ちゃん

## 木曽路氷雪の灯祭りin上松・ねざめ

2月11日(水・祝)に、「木曽路氷雪の灯祭りin上松・ねざめ」が開催されました。

臨川寺境内からたせや・旧越前屋までの参道を中心に、竹灯籠とアイスキャンドルが並び、歴史を感じる中山道跡地を暖かな明かりで照らしました。

また、ねざめ亭では上松檜流太鼓伝承保存会による太鼓の演奏や、あげまつ豚の豚汁の振舞い、シューティングシミュレーターを使用した狩猟体験なども行われ、多くの人で賑わいました。(関連記事 7P)



太郎ちゃん

# 令和八年度 施政方針

令和八年度施政方針について申し上げ、皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年四月五日に上松町長に就任し、十一か月が経過しようとしています。

就任が新年度スタートの時期と重なった事で、昨年度は暫定予算でのスタートとなる中、令和七年度の事業を行ってまいりました。



昨年の就任に当たつての施政方針において、私は、『人口減少、少子化、高齢化が加速的に進む中、条件不利地域の自治体は、将来的に自治体としての機能維持が難しくなる事態も想定されます。』

上松町が将来に向けて持続可能な町であり続けるためには、未来に向けた産業の育成や生活基盤等の整備を図り、住みやすい魅力のある地域づくりを進め、移住・交流人口の増加を図る中で人口減少を緩やかにし、一人ひとりが、「この町に生まれ、育ち、暮らして良かった」という「幸福感」を実感できる地域づくりを進めていきたい。

これらを実現していくためには、行政だけでは出来ないものも多いので、住民の皆様と手を携え、外部の企業や大学等とも連携しながら一歩

一歩前に進めていきたい」と述べさせていただきます。

それらを実現するために、「縮充」という言葉を使い、「人口減少は避けられないという現実に向き合う中で、人口や税収が縮小する事をマイナスとしてとらえるのではなく、地域の人が自ら参加して、地域の営みや住民の生活が充実したものになるよう取り組みたい、そのために、町の宝である資源の積極活用（町の宝さがし）を進め、町民が自らまちづくりに取り組む機運を醸成し、併せて、外部資金の取り込みと、その資金が町内で循環する地域内経済の好循環構造実現による持続可能な町づくりを進めたい」と申し上げたところでございます。

本年度は、四年間の任期の二年目になります。この目標の実現に向けて、一歩一歩取り組んで参ります。

## 具体的な取組み

二年目の具体的な取り組みについてご説明申し上げます。

す。

町づくりを進めるにあたっては、住民の皆様との対話を大切にして、共に町づくりに取り組む機運を高めるとともに、外部の企業や人材の積極活用による地域振興に取り組んで参ります。

### ○地域再生の取り組み

地域再生の取り組みでは、町の資源を最大限有効に活用することを目指し、水・風景・空き家・空き地などの未利用資源の掘り起こしを図るとともに、企業や自治体等との関係の深化を図り、地域振興に繋げてまいります。

一点目として、令和六年度に策定した「観光振興計画」の推進を図るため、「寝覚の床再整備事業」として、集客の核となる施設整備やトイレ整備を進めます。

現在交付金の確定前のため、交付金動向を見ながら六月補正で予算計上を図り、事業を進めてまいります。

二点目としては、現在町内で準備を進めている古民家ホ



テル事業の促進を図ります。民間主導で事業を行うために、「町づくり会社」が新年度早々に立ち上がる予定となっております。三年程度をめどに古民家ホテル開業を目指しています。

それに向けて、新たな物件の掘り起こしや地域住民への理解・参画の促進、地域の文化、食文化資源の掘り起こしなどに連携して取り組んで参ります。

併せて、古民家ホテルを核として賑わいの創出と地域の活性化を図るために、本年度新たに新たな店舗の誘致を進めるための補助金を創設し、

起業のための講習とセットにしての展開を図ってまいります。

三点目として、「新しい木の文化の創造」に取り組みたいと考えています。

木曾は木の国であり、上松の未来は木を抜きにして考えることはできません。

かつて町の基幹産業であった林業、木材関連産業の再生と、新たな視点での取り組みを進め、それを町の振興につなげていくために、関係する皆様が主体的にかかわる中で、未来につながる道筋をつけていきたいと考えています。

昨年、木材産業に関係する若手の皆様と役場職員、商工会職員などの有志が集い、町の木材産業の未来について話し合う場を設け、様々な提案を頂いています。

時間はかかりますが、木材という柱でつながった関係者の連携の輪を広げ、協議する中で、地域の未来につながる具体的な取り組みにつなげていきたいと考えています。



それらを進めるために、集落支援員の配置などの支援の在り方の検討を進めるほか、町民各年代層における「居場所づくり」について各課での検討を指示しています。

今年度、新たに自発的な地域づくり活動を支援する制度の創出を図り、自由な発想でのそれぞれの地域づくりを支援します。

また、交通弱者の足の確保や、買い物物の利便性の向上などにも関係団体等と連携して取り組んでまいります。

さらに、公園など住民の憩いの場の充実も引き続き検討してまいります。



また、その一環として、地域おこし協力隊が技専校卒業生と連携して開催している「凱旋者」イベントを、他の行事と時期を合わせ、駅周辺の空き店舗を活用して開催することを計画しています。

町内外の人に木材、木工に親しんでいただく機会を設け、将来的に町を代表するイベントとなるよう取り組む中で、中心市街地の活性化、賑わいの創出や新たな出店に繋がるよう取り組んで参りたいと考えています。

そのほかにも、町の財産である赤沢自然休養林の更なる活用についても、伊勢市や神

宮等も含めた関係機関と連携を図りつつ取り組んでまいります。

様々な取組みに当たっては、町子ども達や包括連携協定を締結する愛知学院大学の学生の視点からの提言も取り入れながら進めたいと考えています。

### ○地域生活の充実

町の人が生き生きと活躍できる地域づくりを進めるために、憩いの場の確保や、住民の皆様が積極的に地域づくりにかかわる体制作りの検討などを進め、地域コミュニティの活性化を図ります。

### ○産業振興・商業振興

産業振興では、農業法人の設立について研究を進めており、将来的に遊休農地の活用や農業の効率化、特産品開発、農業従事者の所得向上等に取組みます。

また、上松で生産される豚肉の特産品化を図るために商工会と連携して普及促進の取組みを始めており、各店舗で

の「上松豚」のメニュー提供が進んでいます。

なお一層の取り組みの促進を図ってまいります。

林業・木工振興では、桶や野根板、網代などの伝統的産業の課題整理をする中で、技術の未来への継承について、関係者と共に協議してまいりたいと考えています。

「地域再生の取り組み」でも申しあげたとおり、木材・木工業界や地域おこし協力隊、上松技術専門学校等、様々な人が交わる中で、将来につながる木材関連産業の振興に取り組んでまいりたいと考えています。

商業振興では、前述のとおり、古民家ホテルの取り組みに合わせ、起業支援による新規出店の促進などに取り組み、商店街等の活性化を図るとともに、商工会との意思疎通を図る中で、町内購買力向上（経済循環促進）に向けた既存商業者支援の在り方について検討を行ってまいります。

また、養豚場の糞尿や間伐材を活用したバイオマスエネルギーの利用なども、企業と連携して研究を進めたいと考えています。

生活基盤の整備では、居住環境の改善と生活利便性の向上を図るための住宅の確保を進めてまいります。

○資源・エネルギー

資源・エネルギー分野では、町内の豊富な自然エネルギー活用を促進するために、水力発電など環境負荷0のエネルギー活用積極的に取り組んでまいります。

町内には県企業局で建設した吉野小水力発電所と、連携協定を締結するKANNSOテクノスの運営する上松駒ヶ岳発電所が稼働しており、現在第二発電所の建設に向けて準備が進んでいます。

さらに、過日協定を締結した八十二Link Naganoにおいても、新たな水力資源の活用を検討しており、それらを推進する中で地域の振興につ

なげてまいりたいと考えています。

また、養豚場の糞尿や間伐材を活用したバイオマスエネルギーの利用なども、企業と連携して研究を進めたいと考えています。

○生活基盤の整備

生活基盤の整備では、居住環境の改善と生活利便性の向上を図るための住宅の確保を進めてまいります。

住宅不足は定住人口の減少にもつながる非常に大きな課題であり、令和七年度において民間企業者宅の借り上げを行いました。今後とも行政による住宅確保策の推進とともに、民間による集合住宅建設誘導策の実施を行うべく準備を進めているところです。

また、町内の不動産業者との連携により、空き家バンク制度の充実や宅地取引の活性化に引き続き取り組んでまいります。

地域内交通の確保では、七年度において公共交通網の整備が行われましたが、幹線と

枝線との連携やデマンドタクシーの充実、ライドシェアの検討なども進め、住民の生活の足の確保に努めます。

郡内唯一の中核病院である木曾病院では、医師不足などにより診療科の縮小や今後出産の対応ができなくなるなどの問題が起きています。

また、開業医も今後減少していく事が予想されており、住民の生命と健康を守り、維持する事は単独町村だけでは解決できない問題です。

そのために、県や他町村、医師会等との積極的な連携促進を図り、課題解決の取り組みを進めます。

○行政

行政面では、人口減少が急激に進む木曾郡内では、様々な課題が顕在化して来ています。

四月からは、広域観光と公共交通の分野で長野県が木曾広域連合に参画する事となり、過日総務省より許可が出たところですので。

県、近隣町村との連携を深

め、新たな共通課題に対応する体制整備を進める中で、未来に希望の持てる、持続可能な地域づくりを進めてまいります。

町においては、持続的な町行財政運営のために、今回の予算策定に当たり事務事業の点検に着手しました。

七年度は補助費、委託料関係を中心として点検を行いました。引き続き、事務事業全般についての点検を図り、不要な事業や役割を終えた事業の見直しに積極的に取り組

み、財源の確保を図る中で効果的・効率的な行財政運営を図ってまいります。

歳入の確保については、国の交付金や県の補助の積極活用により引き続き、重点事業への投資の集中化などを図るほか、ふるさと納税事業のなお一層の充実のために取り組みを見直し、財源確保に取り組んで参ります。

次に、複雑化する行政需要に対応するために、組織の一部見直しを行います。

課の所管業務の再編を行

うほか、事業執行に関しては、それぞれの課題に対して関連する課が連携して（横串を刺して）対応する形を取り入れてまいります。

また、昨年より始めた職員の受付業務を引き続き行い、職員の意識向上に取り組みとともに、職員の経験値と資質向上のための派遣・交流事業を積極的に行ってまいります。

○教育・子育て支援

昨年一、十二月出生数は九名となっております。

少子化により生徒・児童数が減少する中、子供たちのうちと学びの場の在り方の検討は避けては通れない課題です。

学校や学び場の在り方について、住民、保護者、教育関係者を交えて、引き続き具体的な検討を行ってまいります。

子育て支援は、他の町村に比較してもかなり充実していますが、将来にわたり継続していくためにも、安定的な財源の確保が必要であり、引き続き検討して参ります。



また、小さな子供を安心して遊ばせることができる公園や遊具の整備など、子育て環境の充実も検討してまいります。

○災害に強い町づくり

近年の地球温暖化の影響による海水温の上昇により豪雨や超大型の台風の襲来など自然災害が毎年のように起こっており、自然災害や火災等への備えは安全・安心な暮らしを支える最も重要なこととして取組んでいかなければなりません。  
有事に対応する消防団員が減少する中、団員の処遇や団員確保の在り方、地域住民を守る消防団活動の在り方

(大規模災害時の対応力強化)や機械器具の在り方、広域消防との連携などについて、消防団と共に更なる検討を進めてまいります。

また、自分たちの地域は自分たちで守るという意識を持っていただくことも重要であり、地域防災の担い手の育成に取り組んでまいります。

こういった課題に対応するため、現在、防災専門官の採用について検討を進めており、今後具体化を図ってまいります。

インフラ関係では、国の直轄砂防事業や県の砂防事業などに積極的に協力・連携して進めるとともに、上松荘や老人ホーム木曾寮の避難路となる下河原地区のアクセス橋の建設に引き続き積極的に取り組みます。

住民の生活を守るインフラの維持に関しては、重要度・緊急度を見極めながら整備を進めてまいります。事業を支える土木、建築等の業界保護も重要であり、毎年一定程度の業務量の確保とともに

に、交付金の積極的活用や外部企業等の投資促進による仕事量の確保にも積極的に取り組みたいと考えています。



終わりに

以上、新年度に当たつての町行政運営の基本的考え方について、述べさせて頂きました。

町の皆様と一緒に、未来に希望の持てる、一人

ひとりが幸せを実感できる町を作っていくよう誠心誠意努力してまいりますので、皆様のご理解、ご協力を賜うことをお願い申し上げます。方針とさせていただきます。

上松町長 村田 広司



## 上松中学校生全徒作品展 「いま、私たちが描くもの」展

2月6日(金)から25日(水)まで、上松中学校全生徒作品展「いま、私たちが描くもの展」が、関西電力木曾水力センターにある「かんでんギャラリー」で開催されました。

会場には全生徒が美術の授業で作成した約80作品が並び、1年生は漢字の意味や自分の好きな物の絵を活用した文字絵デザイン「わたしの漢字」、2年生は色鉛筆とモダンテクニックによる自画像「内と外」、3年生は500ml紙パックを活用したパッケージデザイン「何を入れてどう伝える?デザイナーの私」を展示しました。

作品には生徒の感想コメントも添えられ、生徒達の思いや表現方法を感じ取れる展示会となりました。



## 第51回衆議院議員総選挙投開票結果

2月8日(日)に行なわれた衆議院議員総選挙の投開票結果は次のとおりです。(上松町投票区)

### ■長野県選出議員選挙

当日有権者数 3,349      投票者数 2,259      投票率 67.45  
有効投票 2,209      無効投票 50      その他 0

候補者名(届出順)	党派	得票数
たけだ 良介	日本共産党	363
後藤 しげゆき	自由民主党	1,433
花岡 あきひさ	国民民主党	413

### ■比例代表選出議員選挙

当日有権者数 3,349      投票者数 2,259      投票率 67.45  
有効投票 2,206      無効投票 53      その他 0

#### 政党等得票数

政党等の名称	政党名得票数	政党等の名称	政党名得票数
日本共産党	165	参政党	120
日本保守党	26	中道改革連合	417
国民民主党	257	日本維新の会	92
自由民主党	935	安楽死制度を考える会	5
社会民主党	111	減税日本・ゆうこく連合	23
れいわ新選組	55		
いずれの衆議院名簿届出政党等にも属しないもの			0
按分の際切り捨てた有効投票数			0

## 上松保育園

### お楽しみ会

二月六日(金)に上松保育園で、園児たちが日頃楽しんでいる歌や劇遊びを、保護者やお友だちに発表する、お楽しみ会が行われました。

みんなで「雪だるまのチャチャチャ」、「豆まき」を歌って始まった今回のお楽しみ会では、年少さんは楽器あそび、「バスごっこ」「鬼のパンツ」「おもちゃのチャチャチャ」、年中さんは劇あそび「ぐりとぐら」、年長さんは劇あそび「おむすびころりん」を発表しました。また、先生たちも楽器の演奏を披露してくれました。

どの組の発表も元氣いっぱいのおどろきな声で歌ったり、セリフを言うことができ、発表を見ていた保護者や先生、お友だちから沢山の拍手が送られました。

楽しい歌と劇を披露した最後には、園児たちと保護者の方たちが一緒に「森のくまさん」と「ゆき」を歌いました。

## 木曽路氷雪の灯祭り2026

in 上松・ねざめ

一月下旬から二月中旬まで、冬の本曽路を竹灯籠やアイスキャンドルでライトアップする「木曽路氷雪の灯祭り2026」が開催され、上松町では二月十一日(水・祝)に寝覚の床周辺を会場にして開催されました。

臨川寺境内からたせや・旧越前屋までの参道を中心に、竹灯籠とアイスキャンドルが合わせて約五百個並べられ、上松檜流太鼓伝承保存会による太鼓の演奏を合図に、会場スタッフや近隣の住民の方達によって灯が点けられました。会場を訪れた

人たちは、歴史を感じる中山道跡地が、暖かな灯で彩られた幻想的な風景を楽しみました。

また、ねざめ亭ではキッチンカー等の出店や太鼓の演奏会、あげまつ豚の豚汁のふるまい、キーホルダー・キャンドルづくり、狩猟体験シミュレーターなども行われ、多くの人で賑わいました。



## 「カーボンニュートラルのまちづくりに向けた連携協定」を締結しました

令和8年2月9日包括連携協定式



上松町は2月9日（月）に八十二 Link Nagano 株式会社と「カーボンニュートラルのまちづくりに向けた連携協定」を締結しました。

この協定を機に、町内の脱炭素社会の構築及びレジリエントの強化を行い、持続可能なまちづくりの実現を目指すため、一体となって取り組んでいきます。

### <連携していく内容等>

- ①カーボンニュートラルのまちづくり実現に向けた取組みのトータルコーディネートに関すること
- ②再生可能エネルギーの創出および利用拡大に関すること
- ③エネルギーの地産地消に関すること
- ④事業者への太陽光発電設備等の普及に関すること
- ⑤再生可能エネルギーの公共施設等への導入、供給に関すること
- ⑥地域のレジリエンス強化に関すること
- ⑦各種取組における専門的人材による支援
- ⑧その他、本目的を達成するために必要な事項に関すること

## 地域おこし協力隊だより



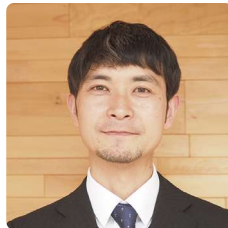
【坂 陸 隊員】

皆様、お久しぶりです。坂です。2月下旬より3月いっぱいまで役場の町民ホールで地域おこし協力隊活動報告の展示を行っています。展示ブースは見ていただけましたか？協力隊の活動は、日頃あまり目にしていられないので、活動内容や作品を皆さんにご覧いただけるのは、良い機会だと感じています。僕の場合、作品や形になるものが少ないので、どんな事をしてきたかの紹介になりますが、ぜひ、木工部の作品なんかも手に取りさわってご覧いただきたいと思います。

僕の話に戻りますが、これから近いうち、いよいよ皆さんと直接関われる機会ができそうです。今までは空き家の調査や現地での状況確認などをメインで行っていましたが、「空き家再生士」という資格を取得し、皆さまの空き家の今後についてご相談に乗ることができるようになりました！ですので、今後、空き家相談会を開催していきたいと思っています。現状ではまだ、開催時期は未定ですが、開催時には情報を流しますので、ぜひご利用下さい。

この資格試験について勉強する際も、色々な情報を得ながら学んできました。やはり、全国的に空き家は問題ですが、活用の方法が面白いくらい沢山あって、物件の大小、新旧、商店系か住宅か、元宿や、銭湯、旅館までも別の使い方でも再活躍できるんです！すごいですよね。上松なんて宝の山な訳です！そこから利益が出ている方もいらっしゃるって、所有者さんも、ただ処分するだけの時代じゃなくなってきました。

僕は利益を出す所までのサポートは出来ませんが、その手前までお手伝いいたします。事例を見たい・話を聞きたいだけでももちろん結構です。面白いと思います！また、告知しますのでお待ちください。それではまた。



【倉持 海音 隊員】

地域おこし協力隊木工部の倉持海音です。上松町には全国に誇れる木工の技術と豊かな森林資源があり、私はそこに大きな魅力を感じています。

木曾桧は昔から有名ブランドとなっていますが、木曾地域は広葉樹の生産量も県内有数であることが分かってきました。この強みを活かし、ふるさと納税の返礼品として魅力ある木製品を開発すべく、試作をくり返しています。

2月末～3月末まで役場1階の町民ホールにて、試作品の展示をさせていただきます。私たちの日々の活動を知っていただき、ご意見いただける機会になれば嬉しいです。



私が特に見ていただきたいのは、木製のランプシェードとコーヒードリッパーです。無垢材のかたまりから削り出して製作していますので、木材の表情の豊かさを感じられる製品だと思っています。

ランプシェードは部屋を彩るインテリアなので、照明を点けた時の灯りが落ちる雰囲気大切に考えています。一方、コーヒードリッパーは日々の暮らしの中で「道具」として使い込まれるものです。どちらも、木育イベントなどで皆様からいただいた「木の温もりを身近に感じたい」という声をヒントに形にしました。

この地域で育まれた大切な資源に、自分たちの「手仕事」という価値を乗せて全国へ届けること。ふるさと納税を通じて町を応援して下さる方を増やすだけでなく、この町で木工を志す人が生業を立てていくための大切な一歩になると考えています。

展示をご覧になった際には、ぜひ率直なご感想をお聞かせください。「もっとこうしてほしい」といった皆様の何気ない一言が、新しい特産品を育てる大きな力になります。この町に息づく木工技術を次世代へと繋ぎ、活気ある町づくりに貢献できるよう、これからも一つひとつの製品に心を込めて向き合っています。

木造住宅にお住まいの皆さまへ

**無 料**

# 耐震診断

はお済みですか??

お住まいの住宅が【1981年(昭和56年)以前】  
に建てられたものだと無料診断の対象になります



※建築の専門家が無料で診断！

改修の必要性などのアドバイスをを行います！

※長野県木造住宅耐震診断士

いつどこで大きな地震が発生してもおかしくない今、あなたとあなたの大切な人を守るために耐震診断をしましょう。

詳細は下記までお問い合わせください。



危機管理課 危機管理係

電話：52-2001(代表)  
52-4902(直通)

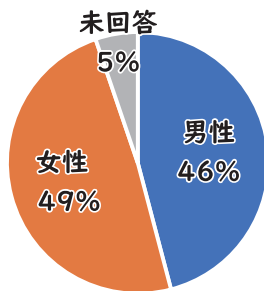
## 健康増進センターリレートーク ……115

### 【アルコール、たばこに関するアンケート】

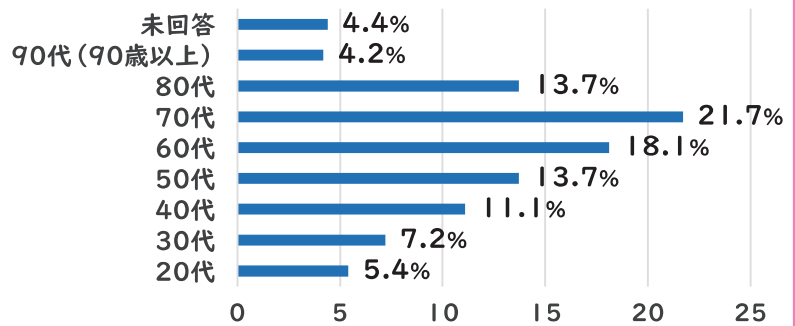
検診アンケートと同時に実施したアルコール、たばこに関するアンケート調査の結果を報告します。  
多くの皆さまのご協力、ありがとうございました。

【送付数：2901 回収数：2866 回収率：98.8%】

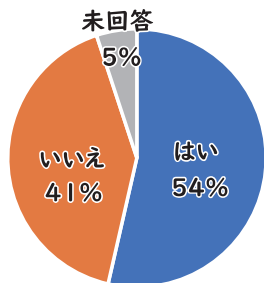
#### 問1 性別



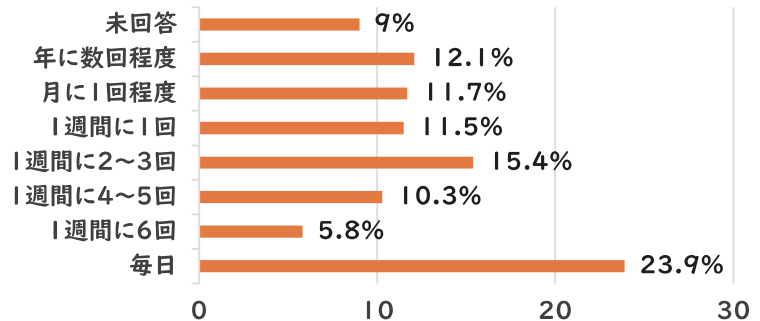
#### 問2 年齢別割合 (%)



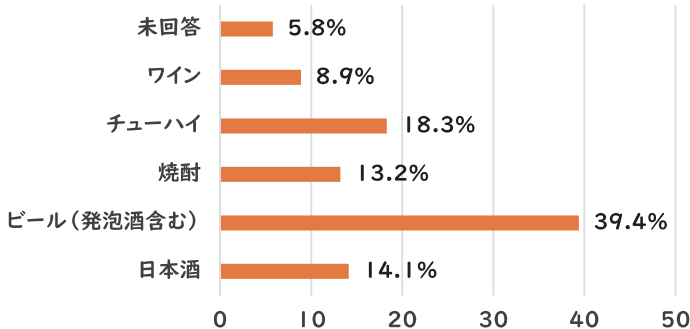
#### 問3 お酒(アルコール類)を飲みますか？



#### 【はい】の方→頻度はどのくらいですか？



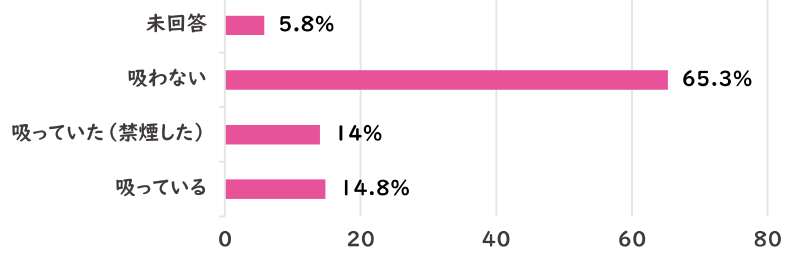
#### 問4 飲むアルコールの種類は何ですか。(複数回答可)



#### 【その他】

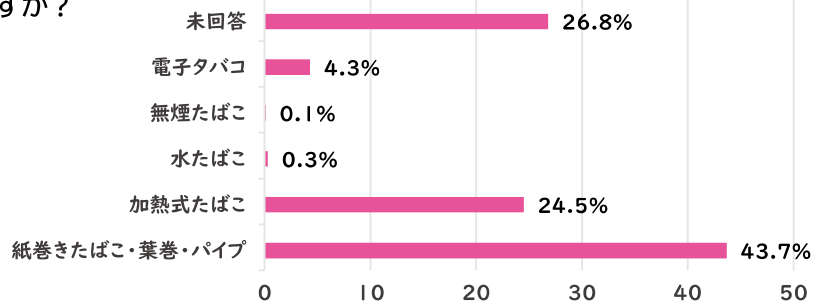
- ・ウイスキー
- ・シャンパン
- ・ハイボール
- ・テキーラ
- ・カクテル
- ・果実酒
- ・梅酒
- など

問5 たばこは吸いますか。



・吸っている方→1日の平均本数：15本

問6 たばこの種類は何ですか？



## 【まとめ】

お酒を飲みますか？という質問に対して、「はい」が54%、「いいえ」が41%、「未回答」が5%と、お酒を飲む人の割合が多く、飲む頻度としては、「毎日」が一番多い結果となりました。健康的に飲み続けるためにも、休肝日を設けることが大切です。

飲むアルコールの種類は、「ビール（発泡酒含む）」、「チューハイ」、「日本酒」、「焼酎」、「ワイン」の順で多い結果となりました。ビールを含めたアルコール類は脱水症状をもたらします。水分補給も適度に行いながら、適量を守り飲酒しましょう。

タバコ吸いますか？という質問に対して、「吸わない」が65.3%、「吸っている」が14.8%「吸っていた（禁煙した）」が14%という結果となりました。吸っている方の1日の平均本数は、15本で、種類は、「紙巻きたばこ・葉巻・パイプ」、「加熱式たばこ」、「電子タバコ」、「水たばこ」、「無煙たばこ」の順で多いという結果となりました。タバコは肺がんの発症リスクを高めます。肺がんは部位別がん死亡数で、男性1位、女性2位となっています。（厚生労働省「2024年人口動態統計」より）ぜひ禁煙を検討してみてください。

今回の結果は担当課内で共有し、今後の業務に活かしてまいります。

上松町役場住民福祉課 保健衛生係（52-2825）



※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。

織田 春美	87歳	寝覚2
生駒 光由	93歳	東里1
下野 節子	87歳	沖田町

ごめいふくをお祈りします

宮本 憲武	長野県
佐野 晶菜	長崎県

おしあわせに

柳澤 世 <small>せな</small> 柳	航平
亜耶	

おすこやかに



二月  
(敬称略)